

1-24-265

畏申上候、抑 内裏段錢候
事、自地下注進仕候、如先
規可被御成敗下候、就申
先度從国方、段錢之事、既
免許候處二、使節日別
被催促候、無謂由御百姓中
歎申間、郡代方へ其子細申
候處二、更不承引云々、於今
罷居候、以使節堅可致

以下 1-25-570

申候、先年も如此子細
申懸地下、馬などを路頭而奪
候、惣別配符 入候へ八、使節日
別申懸候、か様之子細、以御訴
訟之比、諸配符停止御成敗
候者、地下添可存候、今度之御
段錢者、不入御領共者、大略
免許候、此由可有御披露候、
恐惶敬白、

拾月十七日 大部政所 (花押)
侍者御中

(切封墨引)